

2-3.「地球環境未来都市」に関する研究

地球環境に対応した未来都市の計画・デザインの方法および未来都市像を明らかにする研究を、ITプラットフォームの構築を元に、体系的・実践的に取り組んでいます。

災害国日本では地震・風水害が頻発する中で、地球環境問題が深刻化しており、両者が複合・増幅してより甚大な被害をもたらすリスクが高まっています。一方、経済のグローバル化の進展にともない、日本の都市は知的生産の産業拠点としての役割がますます大きくなっており、また超高齢社会を迎えて、高齢者が健康で豊かに暮らせる生活環境が重要となっているなど、これからの都市には高い社会・文化・生活環境の質が求められます。都市や地域で生活・活動空間を、計画・デザインして提供する役割を担っている都市づくりの分野は、そのエンドユーザーの視点に立った、トータルなリスクの低減と質の高い環境を同時に実現できるよう、総合的に取り組む使命があります。政府でもこれらの課題に総合的に対応する都市像として、「環境未来都市」を募集するなど、その具体化は強い社会的要請となっています。

そこで本研究では、リスクが小さく環境の質が高い、また活力にあふれた、真に地球環境に対応した未来都市の計画・デザインの方法、および未来都市像を明らかにする研究に、体系的・実践的に取り組みます。具体的には、地球規模のシミュレーションから地域データベースまでを包含したITプラットフォームの構築が重要な柱になると考えています。